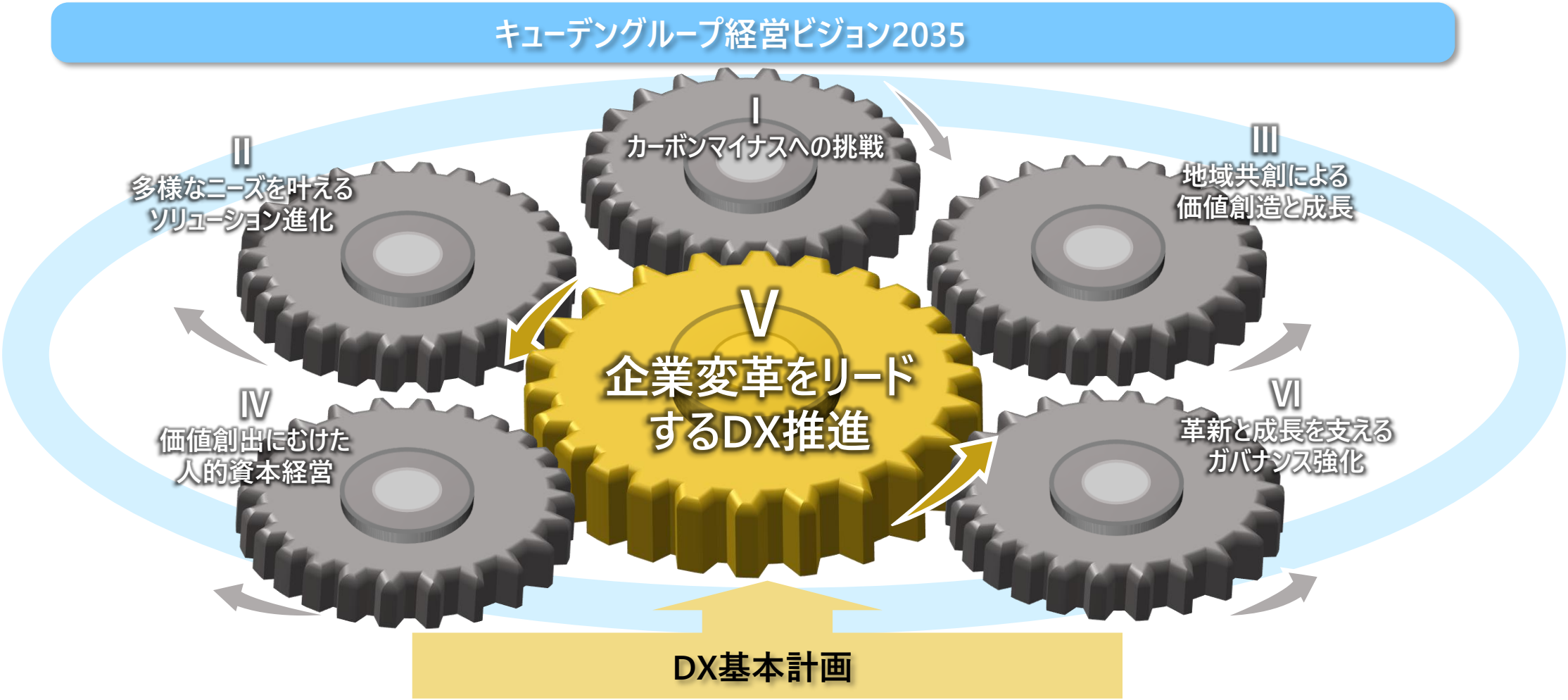
キューデングループ　DX基本計画（ロードマップ）

1. DX基本計画の位置づけ
2. キューデングループにおけるDXの定義と全体像
3. デジタル技術を活用した業務変革
4. データ活用推進による企業変革
5. AI時代をリードするDX人材の育成
6. デジタル技術起点のイノベーション
7. ICT基盤の構造改革とセキュリティ強化

©Kyuden Holdings Inc. All rights reserved.

1. DX基本計画の位置づけ

- DXは、**キューデングループ経営ビジョン2035の全戦略を駆動させるエンジン**であり、変革を加速させる原動力
- DX基本計画を着実に推進させることで、企業価値創造を一層加速し、**全戦略を連動させながら持続的な成長を実現**



©Kyuden Holdings Inc. All rights reserved.

2. キューデングループにおけるDXの定義と全体像

キューデングループ DXの定義	デジタル技術やデータを活用し、自社サービス、ビジネスモデル、業務プロセスの抜本的改革を図ることで収益増大、新たな事業創出、生産性向上、業務基盤強化を目指すとともに、人や組織風土・文化の変革まで追求する「企業変革」の取組み

キューデングループDX基本計画の全体像

キューデングループDXビジョン

- アッと驚くサービス（自社サービス、ビジネスモデル）
- わくわくスマートに業務（業務プロセス）
- チャレンジ溢れる組織（人や組織風土、文化）

DX基本計画

- デジタル技術を活用した業務改革
- データ活用推進による企業変革
- AI時代をリードするDX人材の育成
- デジタル技術起点のイノベーション
- ICT基盤の構造改革とセキュリティ強化

DX基本計画における５つの重点施策を進めることで、キューデングループDXビジョンで定めるありたい姿（“アッと驚くサービス”、“わくわくスマートに業務”、“チャレンジ溢れる組織”）を実現

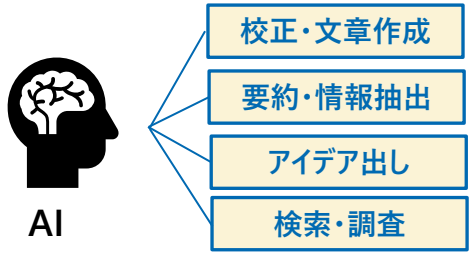
©Kyuden Holdings Inc. All rights reserved.

3．デジタル技術を活用した業務変革

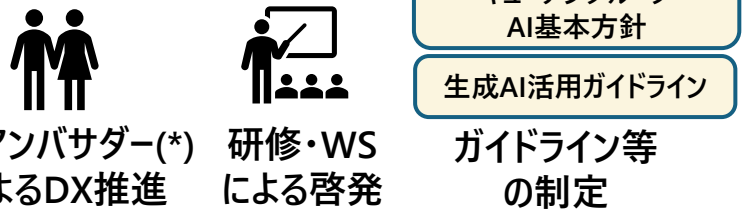
取組み方針　AIを中核に据え、最新のデジタル技術を最大限活用し、生産性倍増、働き方改革の実現に向けて、業務プロセスの効率化や高度化を推進

これまでの取組み	今後の取組み	2035年の目指す姿
業務変革の基盤構築	業務プロセスのリデザイン	AIをコアに据えた業務プロセスの実現

AIとの“協働”（個人の業務をAIがサポート）



改革への機運醸成、ガバナンスやルール整備



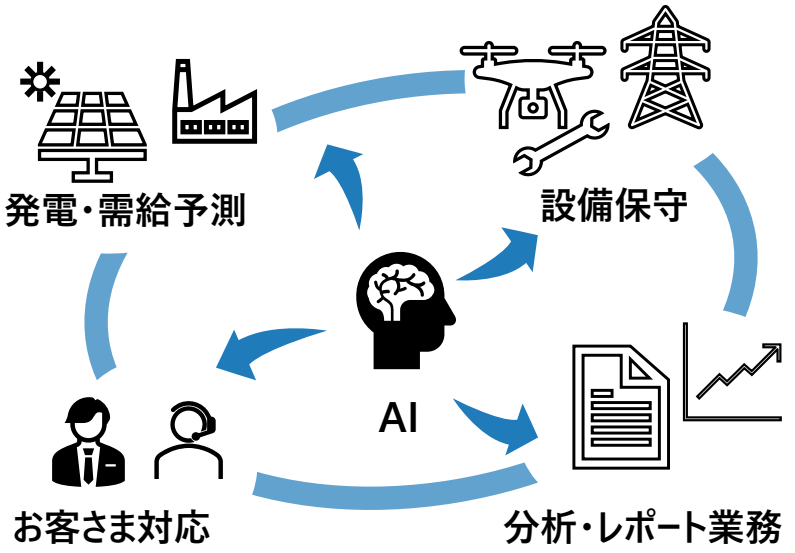
DXアンバサダー(*)によるDX推進　研修・WSによる啓発　ガイドライン等の制定

(*)各職場での自律的なDX推進を加速させる人材

業務プロセスの抜本的な見直し



AIが“主導”する、新たな業務スタイルの実現



©Kyuden Holdings Inc. All rights reserved.

4．データ活用推進による企業変革

取組み方針　データとAIを活用し、意思決定のスピードをさらに加速させることで、AI-Powered企業（市場やお客さまの変化を先取りし、全社で最適化を実現する企業）への変革を推進

これまでの取組み

データ活用基盤の構築

高度分析／データドリブンの取組み

可視化　予測　データドリブンダッシュボード
（全従業員が同じデータに向き合う環境を整備）
最適化　言語解析

データマネジメント／ガバナンス

データアクセス管理や利用ルールを整備し、セキュアなデータ活用環境の土台を整備



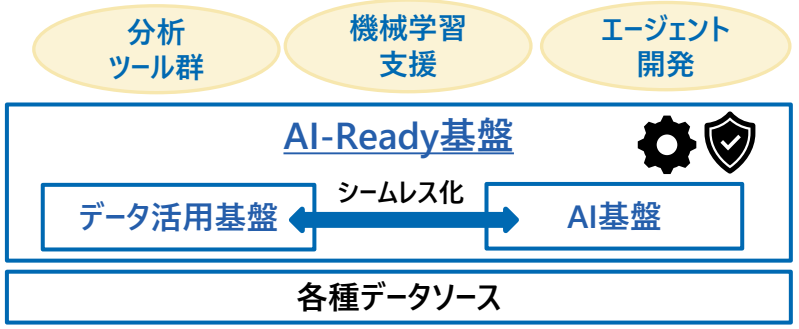
今後の取組み

AI-Ready企業への進化

データに基づく意思決定とAIエージェントによる支援

ディープリサーチ　需要予測支援　フローの自動化

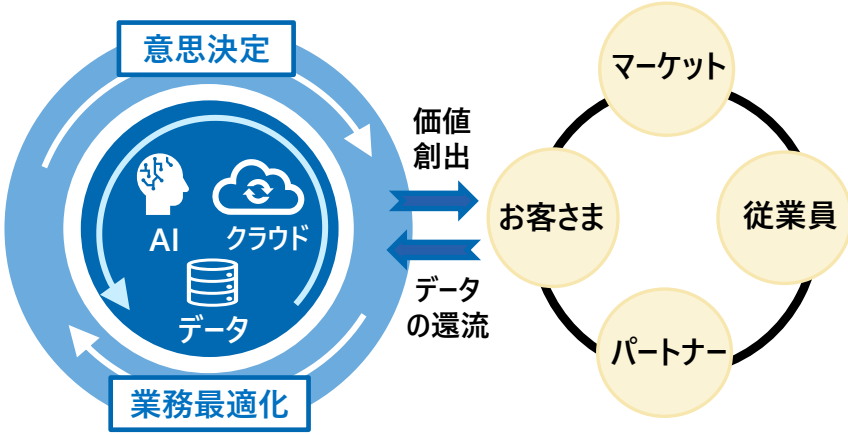
AI-Ready基盤の構築



2035年の目指す姿

AI-Powered企業への変革

AIとデータで業務を自律化、業界変革を牽引



データとAIの循環で意思決定と業務を最適化し、お客さまをはじめとするステークホルダーに新たな価値を提供・成果データを還流することで持続的な価値創出基盤を構築

©Kyuden Holdings Inc. All rights reserved.

5． AI時代をリードするDX人材の育成

取組み方針

DX推進の中核を担う「DX専門人材」の育成と、全社員を対象にDXの能力向上を目的とした「DXフォロワー」の育成を継続するとともに、AI対応能力の強化を図ることでAI時代をリードする人材を育成

これまでの取組み

DX推進に必要な人材育成

AI活用を含めたDX専門人材の育成

人材像	主な役割
DXマネージャー	DX施策の企画、推進
トランスレーター	事業部門と専門家の橋渡し
データサイエンティスト	データ分析、モデル開発
アーキテクト	システムの設計、最適化
DXエンジニア	開発、先端技術の実装

全社員のDX能力向上（DXフォロワー）

DXスキルアセスメント → DXリテラシー → データを活用する力 → 最新技術への理解 …

今後の取組み

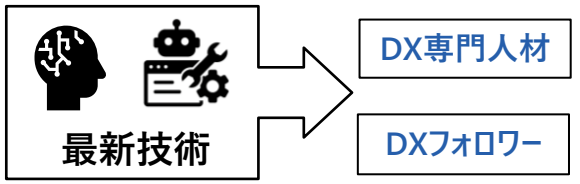
AI対応力の深化、変化へ即応する教育

AIスペシャリストの育成



- AIプロジェクトの企画、推進
- AIモデルの構築、改良

最新技術の取り込み



実践的なAI・データ利活用研修へのシフト

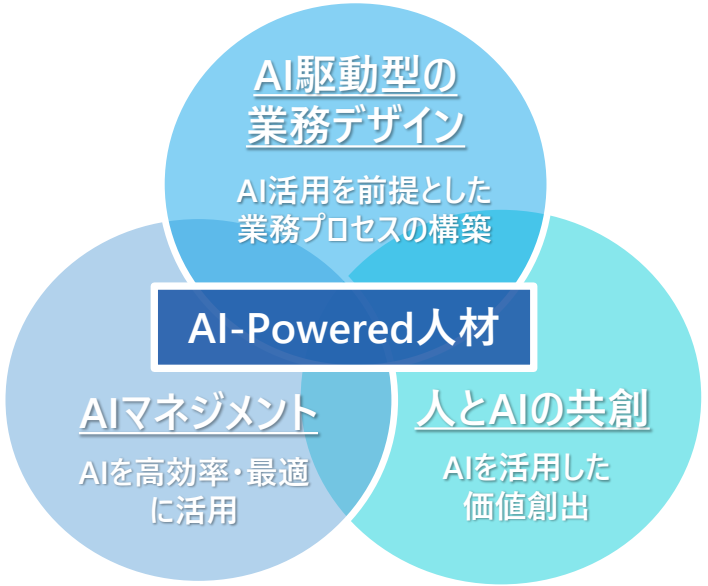
知識の取得に留まらず、より実践的な研修プログラム（業務課題の解決に直結、スモールスタートで実践可能な演習）にアップデート



2035年の目指す姿

AI-Powered人材の育成

AIの特性を理解したハイブリッドな思考力の獲得



©Kyuden Holdings Inc. All rights reserved.

6．デジタル技術起点のイノベーション

取組み方針　新規事業創出・収益拡大に向けて全社横断で取り組み、異業種企業（スタートアップ等）との協業・共創や、当社の強み・リソースを活用し、デジタル技術を起点とした新規事業・サービスを創出

これまでの取組み

イノベーションの推進

社内リソース・技術を活用した新規サービス創出

陸海空ドローンによるソリューションの提供

電力データを活用したサービスの創出

社外との共創と地域課題解決への貢献

オープンイノベーションプログラムの開催（スタートアップ企業との共創）

地域コンソーシアムの設立

今後の取組み

社会課題に応える技術・サービスの事業化

保有ビッグデータを活用した新規事業開発の強化

- AIを駆使した効率化やノウハウを活かして外部へ事業展開
- 蓄積したビックデータと社外の技術・データと掛け合わせ

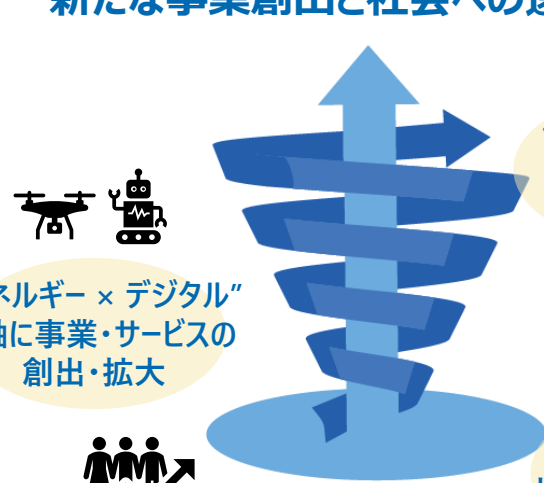
自社フィールドを活用したAI・ロボット技術の開発・サービス化

- フィジカルAIの現場への実装と事業化
- デジタルツイン技術を用いたサービス開発

2035年の目指す姿

社会に新たな価値を創出しつづける企業

デジタルイノベーター(*)集団による新たな事業創出と社会への還元



- “エネルギー × デジタル”を軸に事業・サービスの創出・拡大
- 他業種・他地域へ事業展開、社会への還元
- 社外・地域との共創・協働の活性化
- デジタルイノベーター(*)の活躍

(*) デジタル技術を起点にイノベーションを起こす人材

©Kyuden Holdings Inc. All rights reserved.

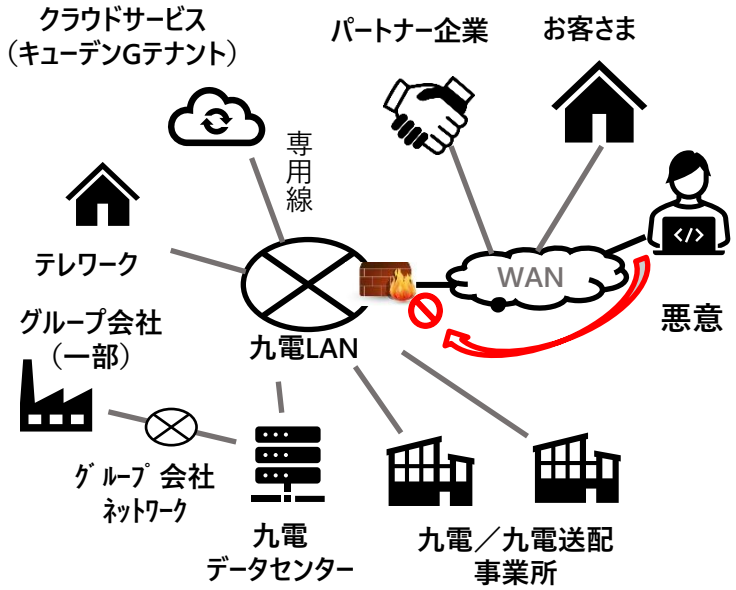
7．ICT基盤の構造改革とセキュリティ強化

取組み方針　いつでも・どこでも、安全に許可されたアプリケーションやデータにアクセスできる環境を。グループ会社全体でのエコシステムを支えるシステムインフラ

これまでの取組み	今後の取組み	2035年の目指す姿
クラウド環境の整備・充実	グループ会社へプラットフォーム拡大	いつでも・どこでも・安全にデータを活用しAIがビジネスをサポート

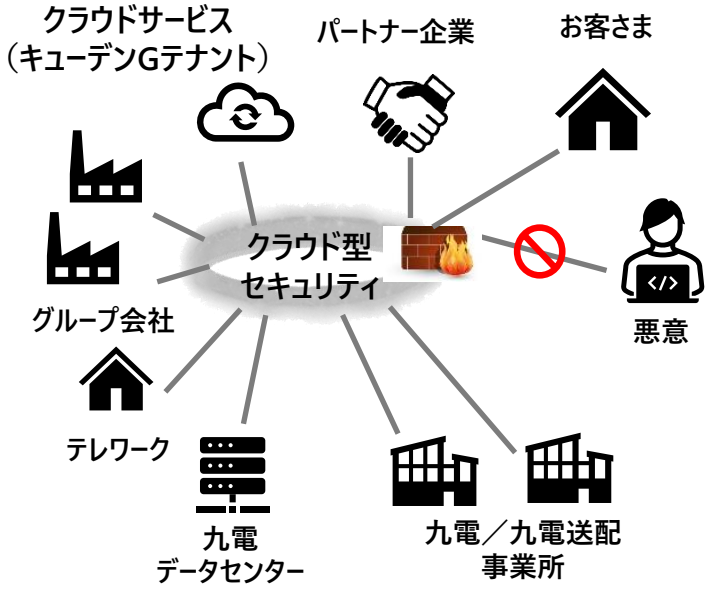
これまでの取組み

オンプレミス中心、専用線でのクラウド接続により構成が複雑化



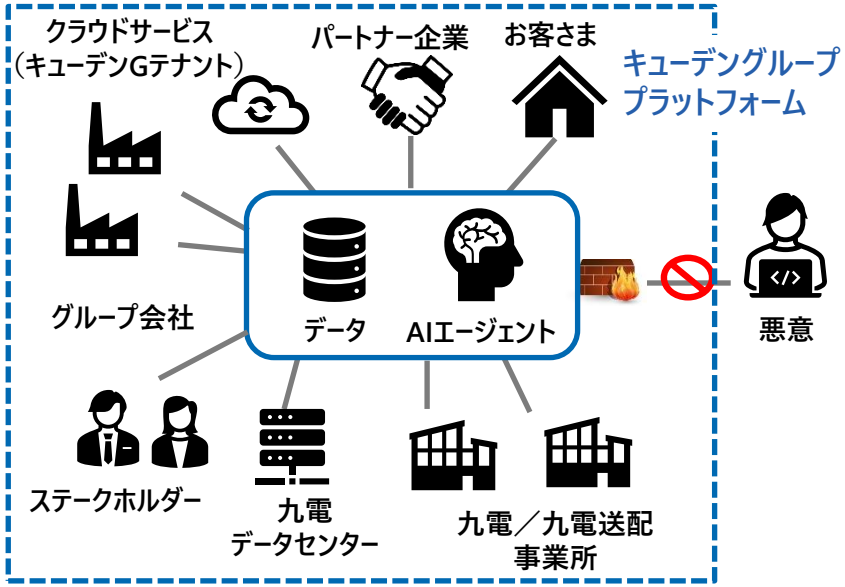
今後の取組み

SASE中心のクラウドセキュリティで利便性と安全性を両立



2035年の目指す姿

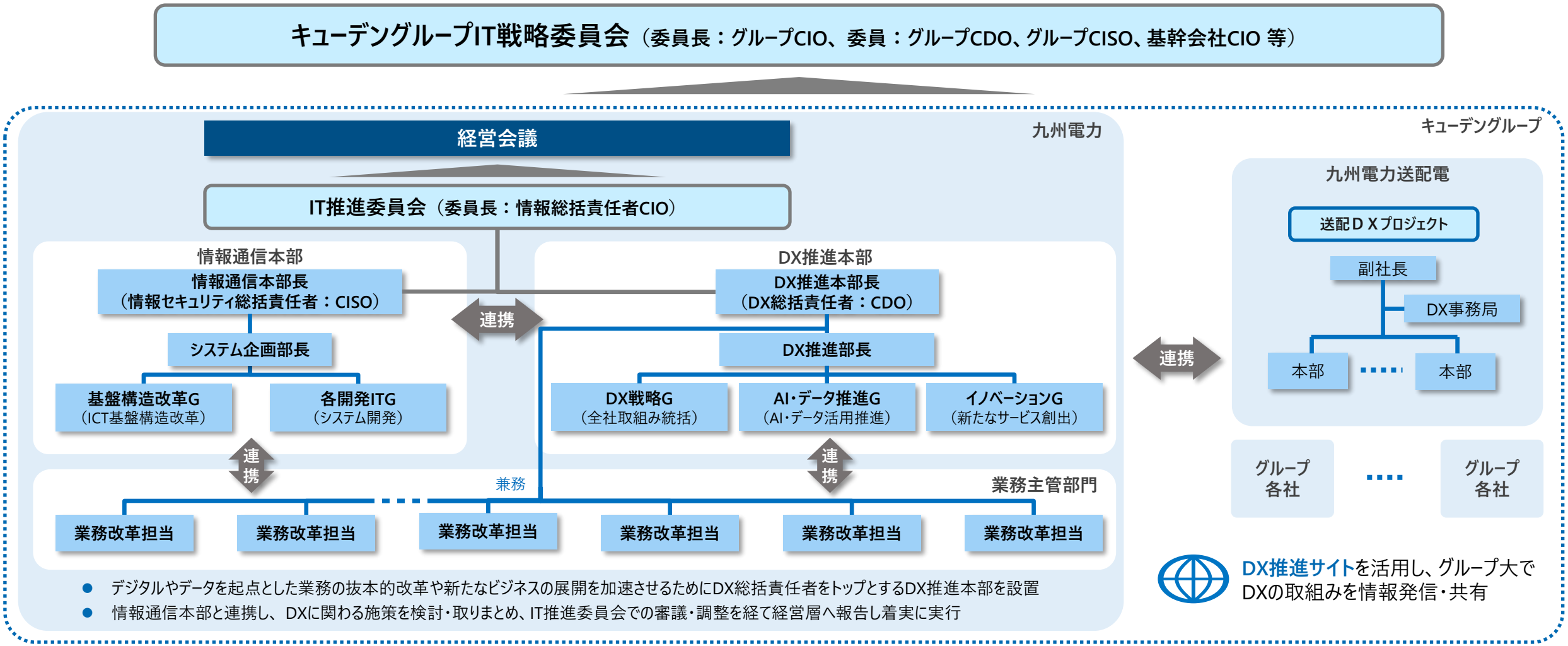
データ・AIが神経のように連携し、ステークホルダーは常時活用可能



©Kyuden Holdings Inc. All rights reserved.

参考）DXを推進するための体制・仕組み

- グループDX/IT戦略の推進等に関する具体的施策及び達成状況を審議、調整する「キューデングループIT戦略委員会」のもと、キューデングループ各社が自律的にDX/IT戦略を推進



- デジタルやデータを起点とした業務の抜本的改革や新たなビジネスの展開を加速させるためにDX総括責任者をトップとするDX推進本部を設置
- 情報通信本部と連携し、DXに関わる施策を検討・取りまとめ、IT推進委員会での審議・調整を経て経営層へ報告し着実に実行

©Kyuden Holdings Inc. All rights reserved.